

山行報告

【山城】 鈴鹿山系 御池岳

【日時】 2021年2月28日（日曜日、曇り）

【メンバー】 S.M.、X、T.M.、（記録 T.M.）

【コースタイム】 行動時間9時間35分。距離15.3キロ。累計高度（±）1489m

8：15 簡易パーキングふじわらスタート

8：27 山口登山口（山口排水池施設方面より歩く）

10：57 白瀬峠

11：56 天ヶ平（カタクリ峠）

約20分ランチ休憩

12：16 天ヶ平（カタクリ峠）スタート

13：28 御池岳山頂

13：35 御池岳スタート

14：40 天ヶ平（カタクリ峠）

15：35 白瀬峠（小向山経由で下山）

17：50 簡易パーキングふじわら着



カタクリ峠の積雪



御池岳山頂

【概要】

簡易パーキングふじわらまでは針インターより約1時間40分。国道306号の車中より眺める藤原岳等鈴鹿の山並みにはさほど積雪が見えず、雪は期待できないであろうと思いながらパーキングエリアで準備を始める。簡易パーキングという名前ながら立派なトイレや自販機等の設備があり、ちゃんとしたパーキングだ。前回の雨乞岳のこともあり、自分が持っている冬山としてはフル装備の12本爪アイゼン・わかん・ピッケルに、ヘルメット、ベテラン氏は30mロープを持ちいざと出発する。

木和田尾には積雪はなくただただ登るも、白瀬峠手前あたりから林間に雪の塊が見え始める。周囲は自然林で秋や新緑のころはさぞかし美しいであろうと思いはせるのもつかの間、カタクリ峠では結構な雪が道を覆い、夏道では問題ないはずの登山道が狭く滑る…方や谷、方や山、落ちたくないという思いでストック頼りにこわごわ歩くが、ベテラン氏とX氏はスタスタ歩く。

カタクリ峠付近で風を避けランチ休憩を取り、遅くとも14：00には引き返そうと決め山頂を目指すことにする。

藤原岳方面は雪解けが進んでいるが目の前のテーブルランドや真の谷の源流部は融解し始めた雪が山や谷を覆いつくし、時々登山者の踏み抜きも見られる。

積雪期のショートカットのはずのトレースが幾重にも別れてあり、コンパスを出して方向を確かめつつひたすら登ると、突然木の道標がある。こんなところに何だろう？とみると、なんとここが山頂、「御池岳 標高1247m」の文字が目に入る。今日は白瀬峠あたりからテーブルランドを拝めたら上出来という気持ちでスタートしたので、山頂までこれたのだ！とうれしさがこみ上げる。白瀬峠から無積雪期であれば50分ほどのところ、約1時間32分かかったが、タイムリミットの14:00より早い13:28分に山頂到着。少しゆっくりしたかったが、風が強く吹き始め周囲の木々に霧氷がどんどんつき、ガスも出、あたりが白くなってきたので写真撮影のみで引き帰す。しかし先頭を歩かせてもらった自分は、山頂より下山方向とは90度程角度が異なるのにトレースが多いボタンブチ方面への道を歩き始め、ベテラン氏やX氏が「これはおかしい」と直ぐ気づき、再び山頂に戻り、コンパスの角度をしっかりと合わせて仕切り直し下山開始となる。テーブルランドの名の通り広い平地で、特に冬場は遭難者が多いというのもうなずける。

下山道こそ滑る滑る、自分は何回も尻もちをつくが、アイゼンのアも言い出さない同行諸氏の中に挟まれ、持参の冬山グッズはボッカトレニングと言い聞かせ、冷や汗をかきつつ歩く。帰りは小向山経由をとったところ、こちらは道も悪く夕暮れ迫る杉林の薄暗い中を歩くも、駐車場には明るいうちの17:50分に到着した。乾杯！の気分であったが、運転道中の長いこともありおとなしく帰路につく。

コンパスをこまめに確認すること。雪道斜面でのバランスの取れた歩きかた。今回も勉強になりました。